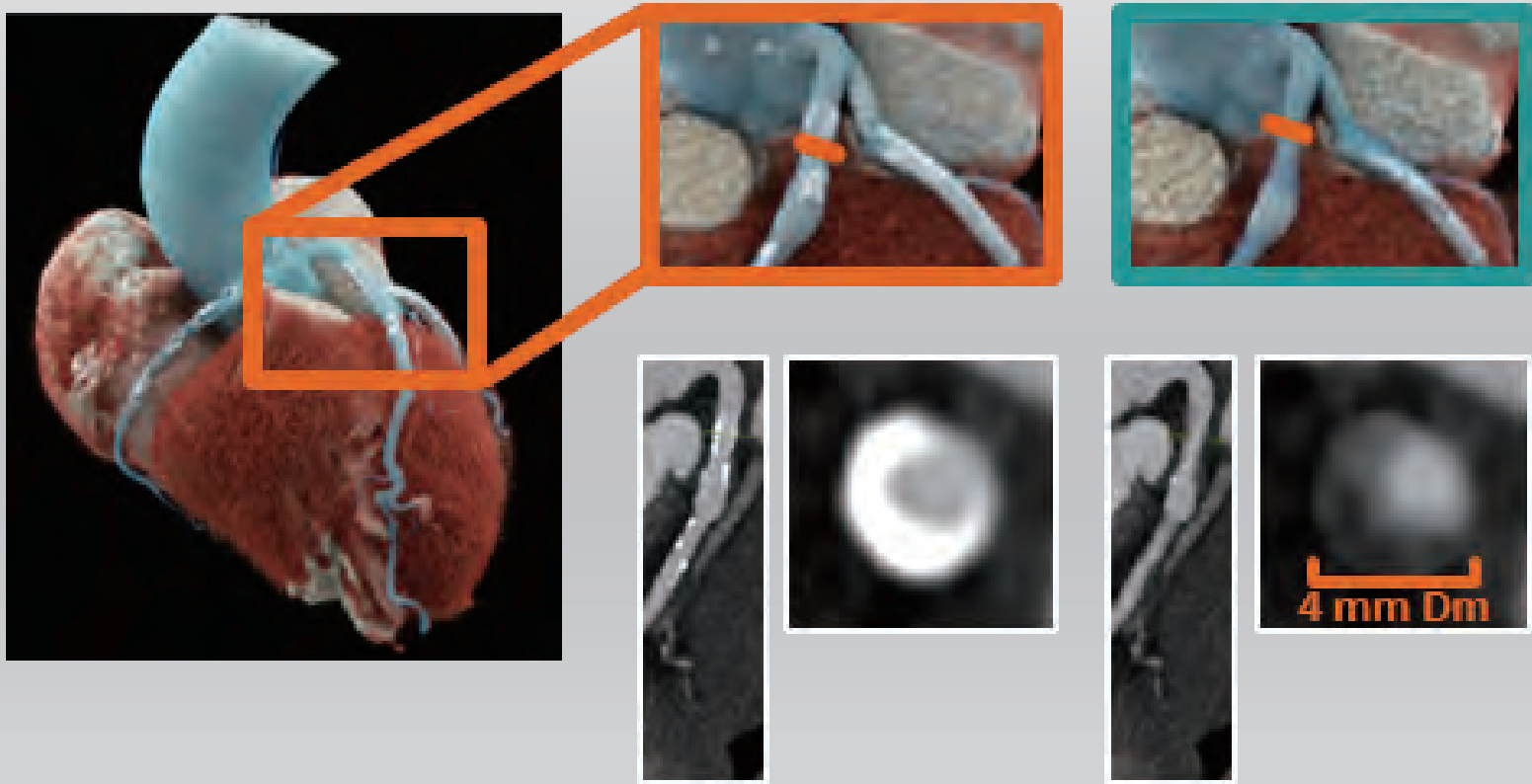


# PLAZA IMS

夏号 Vol.68

板橋中央総合病院

「プラザイムス」は、患者さま、ご家族のみなさまに院内やIMSグループの医療活動、病気に関する情報をお伝えするコミュニケーションペーパーです。



## CONTENTS

### 循環器内科

心血管のスペシャリストによるチーム医療の提供  
画像診断の進歩

### 心臓血管外科

低侵襲治療を目指して

ご存知ですか？ふたり主治医制

Itachu News

# 循環器内科

これからも当院循環器チームは、地域の患者さまと向き合い、安全で最適な医療を提供するため、他の診療科やメディカルスタッフと協力しながら診療してまいります。



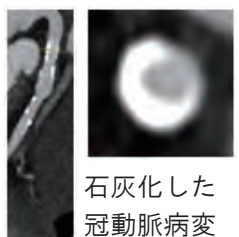
## 画像診断の進歩

## フォトンカウンティング CT / FFR-CT

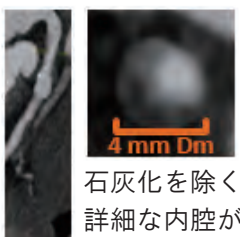
新しいCTによる冠動脈疾患における石灰化の除去



冠動脈 CT 画像

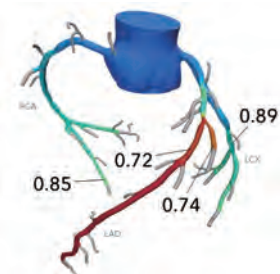


石灰化した冠動脈病変内腔の詳細が評価困難



石灰化を除去と詳細な内腔が描出される

循環器領域では様々な画像診断の進歩が目覚ましく、特にCTはこの夏より新しい機種が導入されます。シーメンス社製の「フォトンカウンティングCT」です。このCTは本邦での導入例も少なく極めて優れた機種であります。造影剤の低減、被ばく低減により患者さまにより負担のない検査が可能となります。



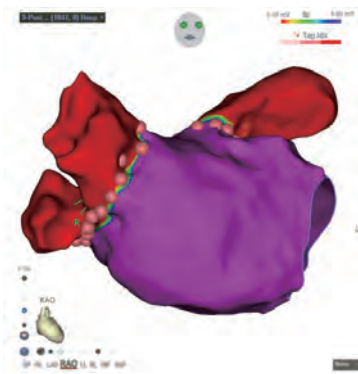
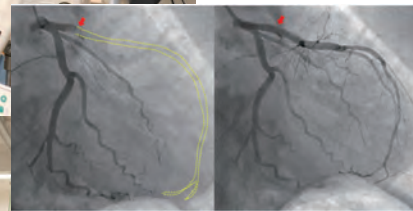
## 心疾患の中で最も治療優先順位が高いのは、急性心筋梗塞をはじめとした急性冠症候群 心臓カテーテルチームが迅速に対応

中でも、急性心筋梗塞は、冠動脈（心臓の筋肉に栄養を与えている重要な血管）が閉塞し、胸痛で発症し、放置すれば死に至る重篤な病気です。我々は地域の皆さまの命をあずかるという使命のもとに24時間365日、循環器CCU専属当直を設け胸痛患者さまの対応にあたっております。急性心筋梗塞の患者さまが当院の救急外来に来院しましたらすぐに専門の心臓カテーテルチームを招集し、カテーテル治療で冠動脈の再開通治療を迅速に行っています。迅速な治療は患者さまの生命予後につながりますので当院ではより熟練したチームにより患者さまの救命に努めております。

## 心臓病は狭心症や心筋梗塞だけではなく、弁膜症や不整脈も重要な病気です。

当院の不整脈チームは、心原性脳塞栓や心不全の原因になる心房細動に対するカテーテルアブレーション治療、徐脈性不整脈に対するペースメーカー治療、致死性不整脈や心不全に対する植え込み型除細動器付き心臓再同期療法（CRTD）など特殊な治療も可能であります。

近年は、リード線のない「リードレスペースメーカー」（Micra）も導入され綿密に適応を検討し使用しています。いずれの疾患も、「患者さまが病気による症状やその身体状況で困っている。」というところを少しでも良くして「より長生きできるよう」「その症状が出現せず、より安心して快適な生活が送れるよう」患者さまやご家族とよく話をして治療をすすめています。



「リードレスペースメーカー」（Micra）

心房細動に対するカテーテルアブレーション治療中の3Dマッピング



さらに、このCTを駆使したFFR-CTでは、これまで軽度や中等度病変の患者さまに対してカテーテルを挿入しなればならなかった、FFR（冠血流予備量比）検査が外来CT検査で可能となり、心臓カテーテル検査を行わずに冠動脈カテーテル治療が必要か必要でないかの判断が可能となります。

## フットケアチーム

フットケアチームは、足の難治性潰瘍や糖尿病足病変など足に問題を抱えている患者さまを包括的に診るチームです。主に循環器内科と形成外科、看護師、リハビリテーション、装具士、医療ソーシャルワーカーで構成されており、入院、血管内治療、手術、リハビリテーション、装具、退院あるいは転院まで、お一人おひとりの状況にあった治療方針を検討し適切な医療を提供しております。



# 心臓血管外科 低侵襲治療を目指して

初めまして、2022年7月より板橋中央総合病院の心臓血管外科に就任させていただきました山崎 学と申します。

成人の循環器疾患は、高血圧、高脂血症、糖尿病などの生活習慣病から至る病気が多く、食習慣の欧米化などによって増加している現状があります。また、ご高齢になって、循環器疾患を発症して、困っている患者さまも増えています。循環器疾患の治療に関しては、生活および食習慣の改善などから始まり、薬剤による薬物治療などがあります。体に侵襲を加える治療としては、循環器内科の先生方が行うカテーテル治療があり、心臓血管外科医が施行する手術は体にメスを入れる治療になります。

循環器内科と心臓血管外科で定期的なカンファレンスを行っていますよね。

そうですね。最近では循環器内科と心臓血管外科とハートチームを作ったのチーム医療が必要な治療が始まり、内科と外科の境界線を薄くし、協力して患者さまの治療にあたるが必要になってきております。



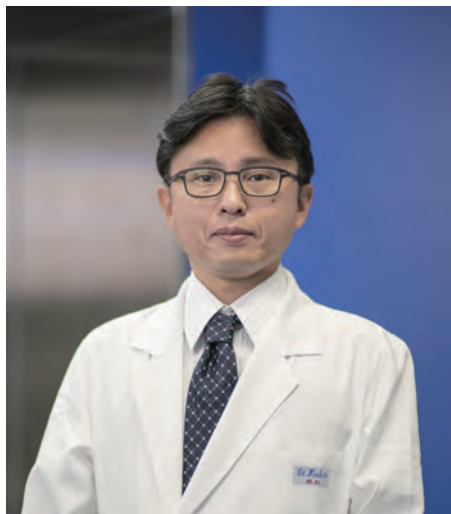
当院においても循環器内科と心臓血管外科でカンファレンスを開いて内科と外科の垣根を超え、シームレスに治療方針を決定しております。

今は患者さまへの負担を少なくする低侵襲手術をよく耳にしますが…

成人の心臓血管手術においては、大きく分けて冠動脈バイパス手術、弁膜症手術、大血管手術、末梢血管手術の4つがありますが、手術に関してもできるだけ患者さまへの負担を減らす手術が求められる時代になってきており、当院の心臓血管外科においても、時代のニーズに応え低侵襲手術を行っていきたいと考えております。

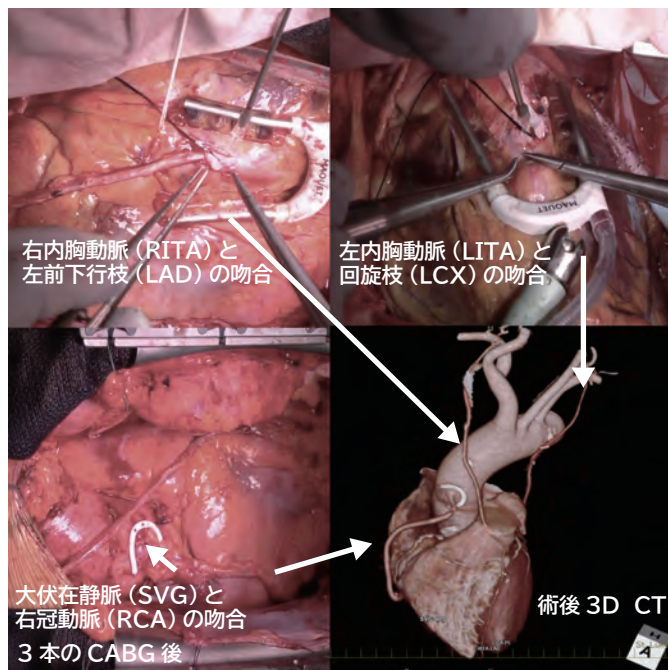
前述にありました、冠動脈バイパス手術とはどんな手術なのでしょうか。

冠動脈バイパス手術は、人工心肺を使用せずに心臓を止めないで行う心拍動下手術（写真1）が主流になって久しいですが、近年では症例により胸部正中切開を行わずに、左小開胸で行う手術（写真2）や、左小開胸手術と循環器内科医によるカテーテル治療を組み合わせたハイブリッド治療などを施行していきたいと考えております。

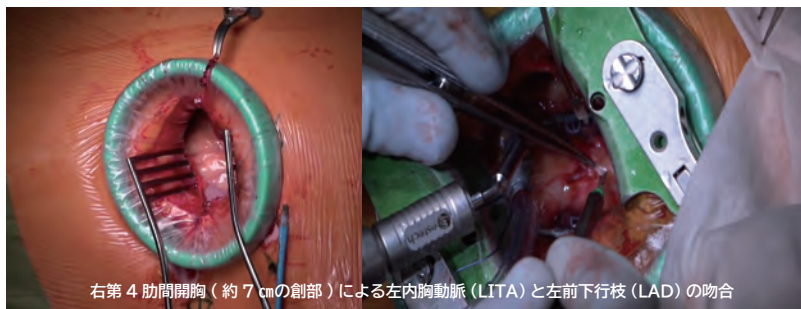


心臓血管外科診療部長

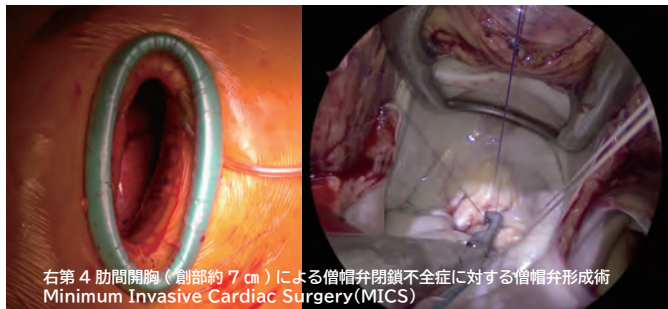
やまさき まなぶ  
山崎 学



(写真1)



(写真2)



(写真3)

右第4肋間開胸（約7cmの創部）による左内胸動脈（LITA）と左前下行枝（LAD）の吻合

右第4肋間開胸（創部約7cm）による僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術 Minimum Invasive Cardiac Surgery (MICS)

では、弁膜症手術とはどのような手術なのでしょうか。

弁膜症手術においては、通常の胸部切開を施行して行う手術に加えて、近年ではMinimum invasive cardiac surgery (MICS) 手術というものが浸透してきており、内視鏡を使用した僧帽弁形成手術(写真3)や、大動脈弁置換術も施行されています。当院においても患者さまの状態に合わせて施行していき、将来的にはダビンチシステムを使用したロボット支援手術(写真4)なども導入していく予定です。また前述のカテーテル的大動脈弁置換術も循環器内科の先生方と導入に向けて準備を現在施行しています。

ダビンチ治療が行えるようになれば、患者さまにとって低侵襲治療の選択肢が増えますね。

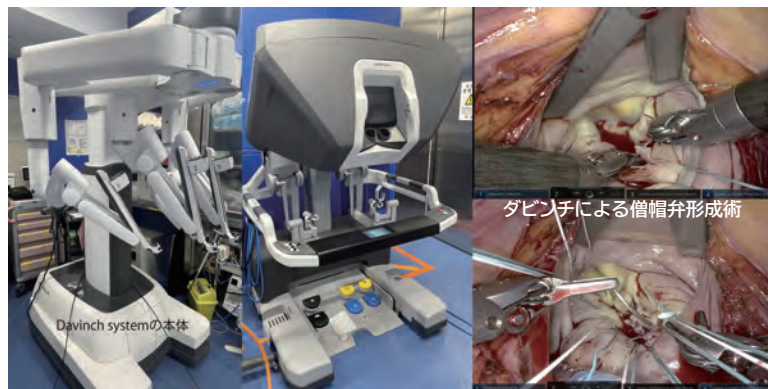
続いて大血管手術についても教えてください。

大血管手術は、開胸や開腹などによる人工血管置換術などが、現在でも必要な手術ではありますが、カテーテル的に人工血管を挿入し治療を行うステントグラフト手術(写真5)は、高齢者の身体の負担を減らすためには非常に大事な手術であります。当院では、患者さまの希望及び身体の適応に合わせて、両方の治療をできるように取り組んでおります。Marfan症候群の患者さまなどで見られる大動脈基部の拡大に対しても大動脈弁を温存する大動脈基部形成術を行っております(写真6)。

末梢血管手術についても教えてください。

末梢血管手術は、動脈の血流が足に流れにくくなっておこる下肢閉塞性動脈硬化症に対するものが多いですが、こちらも循環器内科によるカテーテル治療及び心臓血管外科によって施行するバイパス手術及び両方を組み合わせるハイブリッドの治療を行っております。もう一つは、心臓へ返る静脈血が足にうっ滞しておこる下肢静脈瘤ですが、当院では患者さまの負担を減らす日帰りのラジオ焼灼手術を施行しております。

何かお困りのことがあれば、お気軽にお問い合わせください。



(写真4)



(写真5)



(写真6)

気になる症状があれば、お気軽にご相談ください



03-3967-1181 (代表)

心臓血管外科 外来診療日  
火曜日 午前/午後  
木曜日 午前/午後

心臓血管外科ページ



急な変更により外来日や受付時間等が変更になる場合がございます。最新の情報はHPをご覧ください。

# ご存知ですか？

## ふたり主治医制

当院の医師と、かかりつけ医のふたり主治医で患者さまをサポートします。

安定している状態の際はかかりつけ医に診ていただき、  
急な病状の変化や精密検査が必要な際は当院で検査や治療を行います。



患者さま



かかりつけ医



当院の医師

厚生労働省の医療政策として、500床以上ある急性期病院は、病状が安定した患者さまを、  
かかりつけ医のいる地域医療機関にご紹介することが推奨されています。

今後も当院は地域医療機関との密接な連携のもと、患者さまへの  
最適な医療の提供に努めていきます。



祝 日

診 療

## 祝日も診療を行っています。

9月19日(月・敬老の日)・23日(金・秋分の日)、  
10月10日(月・スポーツの日)は、祝日診療を行います。

- ・急に体調が悪くなった。
- ・予約制の、人間ドックを受診したい。
- ・平日は忙しいので、お休みの日に受診したい。  
などのお悩みにお応えします。

(祝日となりますので、通常の診療費に加え、休日診療加算が追加されます。)

## マイナンバーカードを保険証としてご利用できます。

皆さま、マイナンバーカードはお持ちですか？

マイナンバーカードは保険証としてご利用できるのはもちろんのこと、

- ・窓口で発生した限度額以上の医療費の一時支払いが不要
- ・正確なデータに基づく診療・薬の処方が受けられる  
などのメリットがあります。

患者さまはもちろんのこと、医療現場のスタッフにとっても、良い医療を提供するために必要な情報を円滑に確認することができるので、とても便利です。

まだ発行されていない方は早めに準備しましょう！

注 目  
情 報

講 座

案 内

## 8月開催の無料公開医療講座

相談しづらい女性の尿トラブルを徹底解説！～原因と治療法を知ろう～

日時：8月31日(水)10時00分～11時00分(受付9時45分～)

講師：板橋中央総合病院 泌尿器科医師 小池 慎

泌尿器科医師 小澤 佑

ご予約・お問い合わせ

C館1階 企画広報室(オレンジカウンター横) 03-3967-1181(代表)

WEBお申し込みフォームからお申込みいただけます。



## < 理念 >

安全で最適な医療を提供し、「愛し愛される病院」として社会に貢献する。

## < 基本方針 >

1. 私たちは、「求められる」医療を提供するために創意工夫します。
2. 私たちは、地域連携を強化し、地域包括ケアシステムに貢献します。
3. 私たちは、コミュニケーション能力を備えたプロフェッショナルな職員を育成します。
4. 私たちは、情報技術を最大限に駆使して「未来から選ばれる病院」を目指します。
5. 私たちは、病院内に痛みや苦しみがなくなるように全力を尽くします。



◀ 板橋中央総合病院公式 LINE アカウント



◀ 板橋中央総合病院公式チャンネル「Ita Tube」 YouTube

〒174-0051 東京都板橋区小豆沢 2-12-7

都営地下鉄三田線「志村坂上駅」下車 A1 / A3 出口より徒歩 1 分

03-3967-1181 (代表)

<https://ims-itabashi.jp/> ▶



### 病院受診、入院・介護施設選びに困ったら イムス総合サービスセンター (GSセンター) へ



STEP 1 相談

GSセンターにお電話かHPのメールフォームでご相談を!  
相談窓口専任スタッフがみなさまのお悩みをお伺いします。

STEP 2 情報提供

IMSグループ医療機関の選定、医療機関・制度などの情報提供。  
GSセンターで可能なコーディネート内容の紹介など。

STEP 3 受診決定

ご希望とマッチングした際、IMSグループ医療機関へ受診決定!  
【外来受診】受診希望施設へ受診日・時間(予約含む)・  
対象者さま基本情報等の連絡  
【入院(所・居)・転院】希望施設の医療福祉相談室担当者を紹介

好評配信中  
疾患別セルフチェック

健康セルフチェック



[gscenter@ims.gr.jp](mailto:gscenter@ims.gr.jp)

◎右のQRコードをご利用いただく便利です。  
◎24時間365日受付。2営業日以内にご返信します。



FREE 0800-800-1632

※「050」からはじまるIP電話および国際電話からはご利用いただけません。  
受付時間 / 平日 8:30~17:30 土曜日 8:30~12:30(日祝・年末年始休み)

イムス総合サービスセンター  
<http://www.ims.gr.jp/gscenter/>



IMS(イムス)グループ 医療法人社団 明芳会

板橋中央総合病院

板橋中央総合病院 地域広報誌 PLAZA IMS(プラザイムス) Vol.68 夏号

発行: 板橋中央総合病院 企画広報室

発行日: 2022年8月